



真田街道推進機構
真田サミット

小松姫の時代

子ども戦国武将たちが行進
戦国ストリートin沼田
11月13日(日)

甲冑に身を包み戦国武将に変身した子どもたちや高校生、愛好者などおよそ100人が本町通りを行進。かわいらしい子どもたちに買い物客などから声援が送られていました。



幻想的な音色と語り
琵琶語り「小松姫物語」、講演「信之と小松姫」
11月18日(金)

小松姫とゆかりの深い正覚寺で能村達也・陽子夫妻による琵琶語りを上演したほか、金井竹徳さんの講演会が行われました。

歴史を感じる一日
上州沼田・真田の歴史 小松姫の時代
11月19日(土)

信州真田鉄砲隊による演武のほか、真田十勇士の衣装を着た二荒太鼓の演奏、歴史プロデューサー早川知佐さんの基調講演、母袋上田市長と熊川篤恋村長、星野沼田市長の3人によるパネルディスカッションが行われました。



YOROZU
よろずとく 58
TALK

世界チャンピオン
レーシングカートROTAX世界大会優勝
笹原 右京くん
(沼田中学校3年)
Ukyo Sasahara



1000分の1秒の競い合いを楽しめること
F1ドライバーを目指して頑張ります

昨年11月にUAEドバイで行われた「レーシングカートROTA AX世界大会」で優勝した笹原くん。予選を勝ち抜いた72人の選手が集まり世界一を決める大会で、笹原くんは予選から好位置を取り、決勝でも他を寄せ付けない強さを発揮した。

「世界大会は、レースの内容など全てが自分の思っていたとおりにうまくいきました。ドライバーの技術が試される大会なので、一番最初にゴールした瞬間は、感動して涙が出るくらいうれしかったです」

今回の優勝は、日本人として初の優勝を果たした2009年大会以来、2度目の快挙である。



トロフィーを手に優勝を喜ぶ笹原くん(写真中央)

「各国のチャンピオンたちが一緒に走る最高レベルのレースなので、ほんの少しのミスも許されない状態で走り続けます。集中して周回を重ねているときは、感覚は鋭くなっていますが無心の状態で走っています」

その分、レースに臨む前には「体に力が入りすぎないようにプラスになることを自分に言い聞かせ、できるだけ楽な姿勢をとるようにしてリラクセスしながら気持ちを高めるようにしています」

昨年は、単身でヨーロッパ遠征に挑戦。レースや練習などを通じて心身を鍛えた。

「ヨーロッパ遠征でレースをしてきました。コースの1周1周、1コーナー1コーナーを大事に

練習してきたので、技術がかなり上達したと思います。みんなからのいろいろなアドバイスで負けない強い気持ちを持てるようになりました」

6歳から本格的に始めたカート。今では、楽しみを感じながら走っている。

「父がやっていたダートドライアル競技というカートレースを毎週のように見ていました。様名モーターズポーツランドで初めてカートに乗ったときは、楽しくて気持ちよくて、すごく興味が湧いたので、自然に始めることができました。カートの魅力は、1000分の1秒の競い合いを楽しめることです」

世界王者となり、これからの活躍が期待される笹原くん。

「どんな大会でも、自分の力だけで勝つということは難しい。特に世界大会ではこのことを強く感じました。今年は、ヨーロッパを拠点の一つ上のランクのフォーミュラーやカートに参戦したいです。応援してくれるみんなのために、自分の中のセンサーに磨きをかけて少しでもタイムが縮められるように全力で走っていきます。F1ドライバーを目指して頑張ります」



勝利者インタビュー



レースで疾走する笹原くん(164番)



ぬっくん、まっくん、たっくんも応援
(写真：M.Kitatomi)